

# JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



謹 賀 新 年



# 新年を迎えて

しずない農業協同組合代表理事組合長 西村 和夫



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族とともにご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年12月14日に行われた衆議院議員選挙では、与党の自民・公明の両党が議員定数の3分の2を超える326議席を獲得しました。

安倍晋三首相は、この結果を受け、「機動的な財政政策」「大胆な金融緩和」「民間投資を喚起する成長戦略」という「3本の矢」を掲げた経済政策「アベノミクス」などの信任が得られたとし、今後は更にこのアベノミクスを中心とした政策が推し進められていくこと

と思います。

しかし、アベノミクスの副作用ともいえる円安、昨年前半まで続いた世界的な原油高による輸入品価格上昇に伴い、飼肥料などの生産資材、食料品価格が上昇する結果となり、中小企業や国民生活、そして、農業経営・農家所得を圧迫することとなりました。

また、昨年5月14日には、規制改革会議農業ワーキンググループより、「農業改革に関する意見」が提出され、6月24日には「規制改革実施計画」が閣議決定し、農協系統組織に自己改革を求める内容が示されました。

J Aグループ北海道は、組合員皆様からの意見や提案をもとにJ A・連合会・中央会の各組織が自己改革に取り組む上での指針として、北海道独自の「J Aグループ北海道改革プラン」を示しています。

この機会に協同組合の理念に今一度振り返り、原点を見つめ直し、改革はあくまでも自らで行うとい

う基本に基づいた内容で進むべきだと考えております。

また、TPP交渉に関しては、引き続き注意深く、その動向に目を向け、生命維持産業と食料の安全保障の観点から、農業に担う使命に基づく行動をJ Aグループと共に進めていきたいと考えております。

また、J Aしずない・J Aにかつぷ・J Aひだか東の3J A合併につきましても、平成28年2月が目標となっており、今年が大変重要な1年となっております。3J Aと引き続き協議を進めていき、組合員皆様の理解と協力の中で、あるべき姿となれるよう努力して参ります。

地域の基幹作目については、各作目とも厳しい環境下のもと、個々での創意工夫と更に各振興会を中心に「安全・安心・良品質」確保に取り組んできた結果、全体の取り扱いで当初計画を上回る成果となりました。各位のご苦勞に敬意と感謝を申し上げます。

次に各作目別について申し述べ

ます。水稲は、全道作況指数107、日高108の4年連続の豊作とな

り、数量については増加したものの、昨年は大きく米価が下がったこともあり、計画対比で約340万円の減少となりました。

ミニトマトを中心とした青果ですが、当地区のブランド品として定着したミニトマト「太陽の瞳」については、6月に先進地域である九州地方と出荷時期が重複し、単価が伸び悩んだ時期もありましたが、これまで培ってきた栽培技術などにより、出荷数量は過去最高となり、取扱金額についても過去最高であった昨年の7億5000万円を上回る8億5000万円となりました。

酪農については、前年比で乳価（kg単価）が上昇し、また、出荷乳量についても前年比で増加したため、計画対比で約1400万円の増加となる見込みであります。

黒毛和牛は、素牛産地としての評価を高めるため生産組合員一丸となった素牛づくりを進めております。

黒牛市場は、素牛の不足感から活況を呈していましたが、昨年も年間を通して、購買価格は高値で推移しました。

本年度（平成27年1月末）は、

前年度の4億7000万円を超え  
る4億8700万円の取り扱い見  
込みであります。

当地区の農業粗収入の50%超を  
占める軽種馬については、地方競  
馬の相次ぐ廃止などにより、価格  
低迷が続いていることから、依然  
として厳しい情勢下にあります。

このため飼養戸数及び頭数も年々  
減少しております。  
市場販売頭数及び販売額は、3  
18頭、22億7800万円で、  
前年同期比で43頭、6770万  
円の増加となりました。

また、昨年は静内産馬として2  
年振りにGI優勝馬が輩出された  
ことにより産地に明るさが戻って  
参りました。改めまして生産牧場  
の皆様にお祝いを申し上げます。

ホッカイドウ競馬の開催結果は、  
各公営競技で厳しい情勢が続いて  
いる中であって、インターネット  
での馬券発売が昨年度に引き続き  
好調であったことから前年対比・  
計画対比をともに12・1%上回  
る157億700万円の発売額を  
記録し、2年連続で黒字収支とな  
りました。

開催期間中、各振興会会員をは  
じめ、関係者と地域の皆様が一丸

となつてご支援を頂いた賜物と深  
く感謝し、お礼を申し上げます。

次に、本年度は「JAしずない  
農業振興5ヶ年計画」策定の年で  
あります。重点的な取り組みと作  
目別振興策を実践することを基本  
に策定して参りますので、特段な  
ご理解をお願い致します。

本年も皆様をはじめ、ご家族に  
とりまして実り多い良い年であり  
ますようご祈念申し上げます、新年の  
挨拶と致します。



## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます



代表理事組合長

西村 和夫

管理部長

山岸 剛

副組合長

小倉 正信

経営融資部長

兼田 由和

常務理事

千葉 利一

営農部長

樺田 文明

理事

伊藤 佳幸

経済部長

大滝 康正

外職員一同

伊藤 佳幸  
片岡 康成  
谷岡 寿幸  
泊道 雅則  
山中 修二  
山口 修二

信用担当理事

兼金融部長

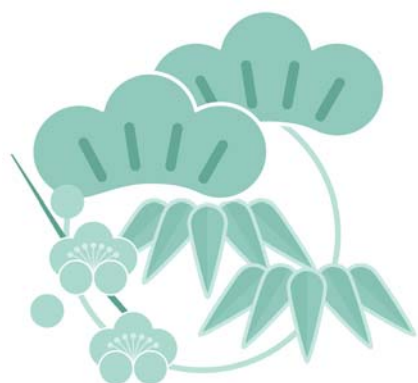
荒谷 昭二

代表監事

渡辺 隆

監事

太田 勝之  
野表 忍





# 平成27年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章



組合員ならびにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年の北海道農業は、地域差・個人差があるもの、おおむね順調な作柄となりました。皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

平成26年は午年(うまどし)でありましたが、農業・JAを取り巻く個々の情勢変化に加え、年末には、衆議院議員選挙が実施されるなど、まさに激動の一年でした。

かかる情勢の中、我が国の農業

をはじめ国民生活の様々な面に大きな影響を及ぼしかねないTPP交渉に関しては、関係国の首脳・閣僚・交渉官等による各種合会ならびに交渉が継続的に行われています。

昨年の11月10日に行われた関係国の首脳合会では、結果として大筋合意には至らず、合意の目標時期も明示されませんでした。協定の早期妥結に向けた取り組みをさらに進めていくことなどを確認し合った経過にあり、今後とも予断を許さない情勢にあります。

国のかたちを大きく変容させかねない重大な交渉であるにもかかわらず、依然として具体的な情報開示がなされておらず、国民不在のもとでの交渉に大きな不安と憤りを感じざるを得ません。

国会決議の順守とともに我が国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党への強力な働きかけを行いつつ、国民世論の形成に向けた取り組みを展開して参ります。

一方、政府は規制改革会議における答申を踏まえ、平成26年6月に「規制改革実施計画」を閣議決定

し、農協系統組織に自己改革を求める内容を示しました。

その後、JAグループ北海道として、全道の組合員に参加頂いたうえで組織討議を実施し、頂いたご意見・ご要望をもとに、「多様な価値観に応える北海道農業」時代に即した協同組合への改革」を柱とした「JAグループ北海道改革プラン(実行計画指針)」をとりまとめました。

今後、その内容を踏まえ、必要な環境整備に向け政府・与党に働きかけを行うとともに、組合員の皆様方と力を合わせJAグループとしての機能・役割をより一層発揮し、国民各層の理解醸成を図りながら、改革プランに基づく事業展開を積極的に推進して参りたいと存じます。

世界規模での異常気象の発生、人口増加、新興国の経済情勢の変化などを背景に国際的な食料の需給事情は不安定な要因を抱えており、先を見据えた中で、食料の安全保障をいかに確立していくかが問われています。自国の食料は可能な限り自国で賄うべきは、国家が存立していくうえで必要不可欠な取組みであります。我が国の農業の位置づけ・役割を再認識したうえで、農業の持続的発展を図つ

ていくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり、関係者の自助努力を精力的に進めていくことが重要であります。

併せて、いまや農業は国民の理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・JAの実態や取り組み、農業・農村の多様な魅力を発信し、国民各層の理解醸成につなげていくことが肝要であります。ややもすると、経済合理主義のもと、効率性や競争が豊かな暮らしの道しるべになるとの風潮がありますが、それぞれの地域や国の実情、多様な価値観を踏まえ、真に豊かな暮らしを追及し、実現していく姿勢が今まさに必要ではないでしょうか。

今年の干支は未年(ひつじどし)です。群れをなす羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和で暮らすことを意味します。改めて家族や農村社会の結びつきを大切に、地域農業・地域社会の共存共栄を目指し、ともに頑張ろうではありませんか。

結びになります。本年が天候に恵まれ実り多い年となりますように、併せて、北海道農業ならびにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶と致します。



# 新年にあたって

日高農業改良普及センター所長 山黒良寛



新年あけましておめでとうございます。

生産者の皆様には、日頃より普及活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、4月中旬がやや低温となつたものの6月に入ると高温・多照となり、多くの作物で平年を上回る生育となりました。8月には、大雨による被害が一部の作物で発生したことから、技術資料・災害対策情報を配信するなど皆様の営農の支えとして活動して参りましたが、総じて良好な結果となりました。また、生産者皆様の高い営農技術と適切な管理作業の賜物と思っております。心より敬意を表します。

品目別に見ますと水稲移植作業は平年並み、分けつの発生は良好となりました。冷害危険期・開花

期は、高温・多照であったことから稔実歩合は平年並み、成熟期における穂数、稔実粒数も平年を大きく上回り、作況指数108という高い収量水準となりました。品質においてもタンパクが低く、良食味を確保することができました。

牧草の一番草は、生育は平年よりやや早くなり、6月中旬に降雨が多く、収穫作業の遅れが懸念されましたが、収穫期は平年並みとなりました。収量は、やや平年を下回りましたが、乾物収量は平年比106と高い収量を確保、品質もやや良好となりました。二番草は、8月に降雨量が多く、その下旬には気温が平年を下回ったことから生育は停滞し、残念ながら収量、乾物収量とも平年を下回りました。

飼料用とうもろこしは、耕起・播種作業は順調に進み、草丈・葉数とも平年以上、また、発芽が良好であったことから10a当たり株数も多く、総重量・乾物収量とも平年以上となりました。また、生雌穂重量は、平年比112、TDN収量も平年比107と高い水準を確保できました。

野菜では、主力品目であるミニトマトは、春先から好天が続いたことで、出荷も昨年より2日早く開始されました。果実肥大・品質

も良好で、商品化率も高まり、単価は昨年よりも下がりましたが、販売金額は8億円を達成し、過去最高だった昨年を上回り記録を更新しました。

ほうれんそうなど葉菜類は、全期間を通し順調に生育し、夏場も平年並みの気温で経過したことから病害虫の発生や生理障害などは少なくなりました。取扱数量は、昨年並みでしたが、平均単価は昨年より、かなり低くなつたことから、取扱金額は、前年を下回る結果となりました。

黒毛和牛の素牛出荷頭数は、前年同比で見ると15%少なくなりましたが、前年同様に北海道市場での取引価格は、高値安定で推移したこと、販売金額は5%程度の減少に止まりました。

軽種馬は、景気回復の兆しが見える中で、依然厳しい状況にありますが、市場での売却頭数、売却率とも昨年を上回り、引き続き回復基調にあります。残念ながら平均価格は昨年より5万円程度下がりましたが、取引頭数の増加に明るい兆しを感じた生産者は多かつたことと思えます。

また、ホッカイドウ競馬の発売金額は157億円となり、13年ぶりに140億円を超えた昨年以上の実績を残すことができました。特にAiba静内の発売金額は順調で、町ぐるみでホッカイドウ競馬を応援する取り組みも定着してきたことがわかります。しかし、PPP交渉の行方は未

だ不透明で、経済対策もその恩恵が地方には波及していないという意見も多く、北海道農業にとって、依然厳しい状況が続くことは間違いないと思います。

当普及センターは、軽種馬の構造改革を推進するため、引き続き「強い馬づくり」に向けた強い草づくり支援に努めて参ります。

更にミニトマトを中心とした野菜生産振興と労働対策、黒毛和牛素牛の良質生産に向けた飼料供給環境改善の強化など経営の複合化や転換促進、新規就農者の受け皿としての機能を備えた産地形成を旨とし、生産者・関係機関の皆様と共同しながら進めて参ります。

いずれにしても生産者と消費者が安心・安全な農畜産物で繋がることが重要です。顔の見える農畜産物生産に向けて、クリーン農業の実践やGAP認証に向けた活動支援、地域資源を活用した6次産業化の推進など、あらゆる場面を通して、生産者の方々の所得確保に向けて活動して参ります。

また、そこに人が残る・残れる地域づくりのなかで、農業がその中心的役割を担えるよう、地域振興に寄与して参りたいと思えます。昨年は、午年にふさわしく、日高農業の飛躍に繋がる話題が多い年となりましたが、生産者の皆様におかれましては、今年も更なる発展の年となりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 新年に向けて

J A しずない女性部 部長 木田 正子



新年明けましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、新たな年をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も全国的には、自然災害が多発し、多くの人命、田畑が失われた一年でした。

幸い当地域では、大きな災害はなかったものの米価の下落や農業資材全般にわたるコストの拡大とTPP参加交渉の行方など考えたらきりがありますが、女性部としては、今を明るく活動に取り組んでいきます。

しずない農業まつりでは、部員も早朝より、はりきって調理・販売をしましたが、そば・かぼちゃ

しるこ共に「おいしかったよ」と声をかけられ、お客様に喜ばれていることを改めて実感しました。

また、料理教室では、静内の特産品であるミニトマトを使用して、キーマカレーやゼリーなど4品の料理を完成させました。

普段はそのまま食べているミニトマトに火を通し、様々な料理にアレンジできることを知り、献立の幅も広がり、また、部員同士にとっても良い交流の場となりました。

今後も部員一同、家族や地域の食の安全・安心を考えながら、農業に従事し、女性部活動の活性化を更に図っていきけるよう努めます。

本年も組合員、各関係機関の皆様や部員にご協力、ご支援をお願いし、実り多き一年となることをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年を迎えて

J A しずない青年部 部長 不動 達也



新年明けましておめでとうございます。

組合員、各関係機関の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の青年部活動は、しずない農業まつりへの出店、ハロウインの開催、小学校への食育出前授業などの活動に取り組みました。

ハロウインは、昨年で7回目を迎え、沢山の子どもたちと保護者の方にご来場頂き、盛況のうちに終了することができました。年々来場者が増えており、改めてこのハロウインが、地域に浸透しつつあることを肌で感じる事ができました。

子どもたちにもっと農業を身近に感じ、楽しんでもらえるようなイベントにしていきたいと考えて

います。

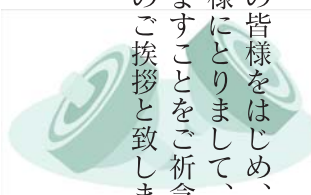
また、昨年で2回目を迎えた食育出前授業は、一昨年の桜丘小学校、山手小学校に加え、新たに高静小学校にも協力を頂き、実施することとなりました。

静内地区の特産品であるミニトマトを教材として使用するこの授業では、青年部員自身も慣れない部分がありましたが、子どもたちは真剣そのもので、襟を正される気持ちでした。

そのような授業の中で、子どもたちは、定植から収穫までの間に育てる楽しさや難しさを感じてくれたことと思います。

この授業は、子どもたちが農業に触れる貴重な体験の場となっておりますので、農業のファンをもっと増やしていきたいよう今後も青年部一同で、盛り上げていきたいと思っております。

本年も組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様にとりまして、良い一年となりますことをご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。



## 静内農業青色自主申告会からのお知らせ

### 移動確定申告日のお知らせについて

平成26年度移動確定申告相談の日程が以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

- **2月12日(木)**  
**東 別** 午前10時～正午 東別生活センター  
**春 立** 午前10時～正午 春立生活館
- **2月13日(金)**  
**御園・農屋** 午前10時～正午 御園生活館  
**田 原** 午前10時～正午 田原生活館
- **2月16日(月)**  
**東静内・浦和** 午前10時～午後3時 東静内生活館  
**川台・西川** 午前10時～正午 川台生活館
- **2月17日(火)**  
**豊 畑** 午前10時～正午 豊畑生活館

#### 問い合わせ先

- 新ひだか町役場税務課 TEL 0146-43-2111
- 浦河税務署 TEL 0146-22-4131

### 源泉所得税の納期特例納付期日について

源泉所得税の納期特例納付期日が以下の通りとなっておりますので、お知らせ致します。

納付税額が0円の場合にも納付書を浦河税務署へ提出する必要があるため、提出がない場合には、専従者給与及びパート賃金が費用として認められない場合があります。

また、**平成25年分の所得税からは復興特別所得税が導入されております**ので、年末調整等の際には、税務署から送付されております『平成26年分 年末調整の仕方』の内容をよくご確認くださいと思います。

### 納付期日 平成27年1月20日(火)

#### 問い合わせ先

- 静内農業青色自主申告会事務局  
(営農部営農課)  
**TEL 0146-42-1051**  
**FAX 0146-42-7034**

## 理事会報告

### 9月理事会 (26日)

- 1、平成26年度上半期の監査結果について
- 2、規定の改定(案)について
- 3、平成26年度優良繁殖牝馬導入促進事業(案)について
- 4、平成26年度馬産地再活性化緊急対策リース事業について
- 5、出資金の減口について

### 10月理事会 (28日)

- 1、平成27年度産業奨励事業(案)について
- 2、平成26年度馬産地再活性化緊急対策リース事業(案)について
- 3、出資金の減口について

### 11月理事会 (28日)

- 1、対策農家の状況報告について

## おつかれさまでした

### 退職職員

営農部生産課

平成26年10月31日付

**西岡 敬司**

(勤続年数 21年7ヵ月)

經濟部燃料課

平成26年12月10日付

**武藤 梨紗**

(勤続年数 6年7ヵ月)

- 2、対策農家への長期資金(借換)の貸付について
- 3、長期資金の貸付について
- 4、平成26年度馬産地再活性化緊急対策リース事業(案)について
- 5、自治監査指摘事項の回答について
- 6、JA全国監査機構北海道監査部の指摘事項に対する回答について
- 7、年末手当の支給について



# 年末・年始業務日程



区 分	12月		1月								
	30日(火)	31日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)			
下記以外の業	平常営業 8:30~17:00		休 業						平常営業 8:30~17:00		
金融店舗	平常営業 8:30~16:00								平常営業 8:30~16:00	平常営業 8:30~16:00	
A T M	本所	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00	ATM 8:30~18:00
	役場	ATM 9:00~17:30							ATM 9:00~17:30		
	豊畑	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~18:00	ATM 8:30~18:00
	東静内	ATM 8:30~18:00							ATM 9:00~12:00	ATM 8:30~17:30	ATM 8:30~18:00
Aコープ しずない店	平常営業 8:30~18:00	営 業 8:30~12:00							平常営業 8:30~18:00	平常営業 8:30~18:00	
本所給油所	平常営業 7:30~19:00	営 業 7:30~12:00							営 業 8:30~17:30	営 業 7:30~18:00 平常営業1月7日~ 7:30~19:00	
事業所給油所	平常営業 8:30~18:00	営 業 8:30~12:00							営 業 8:30~17:30	平常営業 8:30~18:00	
日高中部農協 機械センター	自動車の事故処理(レッカー搬送)は、24時間受付しております。 TEL 0146-42-7051										

## 平成27年 地区別懇談会日程表

平成27年地区別懇談会を以下の日程で実施致します。  
組合員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ご出席頂きますようご案内申し上げます。

月 日	時 間	農 事 組 合 名	会 場
1月20日 (火)	午前10時~ 午後0時30分	・ 静内一・駒 場・中野一・中野二・神 森 ・ 昭 和・真 歌・有勢内・目 名・田 原 ・ 田原高台・桔 梗・親 和	目名生活改善 センター
1月21日 (水)	午後5時30分~ 午後8時	・ 浦 和・あざみ・東静内・あけぼの・川合一 ・ 川合二・川合三・西川一・西川二・西川三	川合生活館
1月22日 (木)	午前10時~ 午後0時30分	・ 春 立・東別一・東別二・東別三	東別生活 センター
	午後5時30分~ 午後8時	・ 御 園・農 屋・豊畑一・豊畑二・豊畑三 ・ 上豊畑・豊畑振興	豊畑生活館

※ご自身の地区で都合のつかない方は、ご都合のつく地区でのご出席をお願い致します。